

ファイル共有ソフトWinnyによる情報の流出について

記者発表資料

今般、元九州地方整備局非常勤職員が自宅で使用しているパソコンに、ウイルスが感染したことによって、ファイル共有ソフトWinnyを介して行政事務情報が流出し、インターネット掲示板に掲載された事が判明しました。

流出した情報は、非常勤職員が日常行う業務内容の手順書等で、個人情報が含まれております。当該非常勤職員が任用予定期間終了に伴い、引継資料を自宅で作成するために持ち帰り、自宅パソコン内に保管していたものが流出したものです。

個人情報を含む行政事務情報が流出した事及びインターネット掲示板に掲載された事は誠に遺憾であります。

これまで、職員（非常勤職員含む）に対しては、ウイルスなどの感染によって情報流出につながる危険性、行政事務情報の自宅への持ち帰りの原則禁止等を周知して参りましたが、今回の事態を踏まえ、詳細調査の上、国土交通省情報セキュリティポリシーを徹底し再発防止に万全を期します。

平成19年8月13日

国土交通省九州地方整備局

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 企画部

TEL 092-471-6331（代表）

情報通信技術課長 徳山松義（内線3351）